

4. 人材育成

当センターでは、「震災後のメンタルヘルス研修」、「支援スキル関連研修」など、メンタルヘルスに関する専門職や支援者を対象とした知識の普及と研修を行ってきた。

(1) 人材育成研修の参加人数（表3）

当センターが2013年度から2019年度まで行った人材育成研修の参加人数を表3に示す。すべての年度において、参加人数が5,000人を上回っていることから、人材育成研修はニーズがある。

表3 人材育成研修の参加人数

年 度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
参加人数	5,505	5,552	5,696	5,398	5,668	5,417	5,390

(2) 人材育成研修の実施回数（表4）

当センターが2013年度から2019年度まで行った人材育成研修の実施回数を表4に示す。支援スキル研修は人材育成研修の3割を占めており、現在もなお求められているテーマといえる。アディクション関連問題研修については、2015年度まで実施回数が多かったものの、2016年度以降は減少傾向にある。これは、自治体等での同テーマに関する研修が増えたことも影響している。

また「自死対策関連問題研修」「子どものメンタルヘルス研修」の実施は行政からの委託により、定期的に開催されていることもあります。全体を通して一定回数開催されている。

表4 人材育成研修の実施回数

年 度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
震災交流会	3 (1.8%)	3 (1.8%)	3 (1.9%)	3 (2.0%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
支援スキル研修	54 (32.3%)	53 (31.0%)	43 (27.0%)	45 (29.6%)	53 (30.8%)	42 (30.9%)	50 (37.6%)
アディクション関連問題研修	26 (15.6%)	32 (18.7%)	34 (21.4%)	20 (13.2%)	24 (14.0%)	19 (14.0%)	10 (7.5%)
事例検討	12 (7.2%)	7 (4.1%)	6 (3.8%)	7 (4.6%)	17 (9.9%)	9 (6.6%)	1 (0.8%)
自死対策関連問題研修	11 (6.6%)	8 (4.7%)	10 (6.3%)	18 (11.8%)	16 (9.3%)	19 (14.0%)	17 (12.8%)
支援者のメンタルヘルス研修	10 (6.0%)	8 (4.7%)	5 (3.1%)	3 (2.0%)	9 (5.2%)	2 (1.5%)	8 (6.0%)
職場のメンタルヘルス研修	9 (5.4%)	9 (5.3%)	9 (5.7%)	18 (11.8%)	16 (9.3%)	7 (5.1%)	8 (6.0%)
精神疾患障害についての研修	8 (4.8%)	12 (7.0%)	9 (5.7%)	7 (4.6%)	4 (2.3%)	5 (3.7%)	7 (5.3%)
子どものメンタルヘルス研修	6 (3.6%)	15 (8.8%)	22 (13.8%)	20 (13.2%)	22 (12.8%)	26 (19.1%)	19 (14.3%)
高齢者のメンタルヘルス研修	1 (0.6%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	2 (1.3%)	1 (0.6%)	1 (0.7%)	3 (2.3%)
メディアカンファレンス	1 (0.6%)	1 (0.6%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
被災地の状況とセンターの活動について	7 (4.2%)	11 (6.4%)	8 (5.0%)	8 (5.3%)	6 (3.5%)	4 (2.9%)	8 (6.0%)
その他	19 (11.4%)	10 (5.8%)	8 (5.0%)	1 (0.7%)	3 (1.7%)	2 (1.5%)	2 (1.5%)
実施回数計	167	171	159	152	172	136	133

注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

5. 子どもの心のケア地域拠点事業

宮城県は、東日本大震災後の心のケアに関して、震災復興計画において「子どもから大人まで切れ目のない心のケア」を掲げている。東日本大震災（以下、震災）直後から、子どもの心のケアは子ども総合センターや児童相談所などで対応しており、2012年2月からは宮城県子ども総合センターに「東日本大震災中央子ども支援センター宮城県事務所」が設置された。その後2014年4月から「東日本大震災みやぎ子ども支援セ